

加温ハウス栽培「大将季」のかごしまブランド基準を達成する土壌水分管理法

加温ハウス栽培「大将季」は、満開後日数に応じた灌水法で、収穫期には、ブランド品質基準の果実割合が高まる

背景・目的

- ・「大将季」のブランド品質基準は、糖度13度以上かつクエン酸含量1g/100mL以下
- ・加温ハウス栽培「大将季」におけるブランド品質基準を達成するための土壌水分管理の指標は不明
- ・ブランド品質基準の割合を高める土壌水分管理法を確立

成果の内容

- ・ 満開後日数に応じた灌水法で、収穫期のブランド品質基準割合が高まる。
 - 加温開始から満開60日後まで1日おきに20L/樹(3.8t/10a), 満開60日後から満開150日後まで1日おきに30L/樹(5.8t/10a)灌水
 - 満開150日後から220日前後で断水処理し、断水期間後に収穫期まで2日おきに10L/樹(1.9t/10a)灌水
 - 灌水再開の目安は、簡易土壌水分計の1日当たり水位低下速度で5cm/日

表1 満開後に日数に応じた灌水量

| 満開後日数 | 加温開始～満開60日後 | 満開60～150日後 | 満開150～220日後 | 満開220日～収穫期 |
|-------|-------------|------------|-------------|------------|
| かん水量 | 1日おきに20L/樹 | 1日おきに30L/樹 | 断水期間 | 2日おきに10L/樹 |

表2 収穫期の果実品質

| 年 度 | 糖 度 (°Brix) | クエン酸含量 (g/100mL) | 品質基準割合 (%) |
|------|----------------|---------------------|---------------|
| 令和2年 | 14.6 | 0.91 | 83.3 |
| 令和3年 | 13.7 | 1.00 | 73.3 |
| 令和4年 | 14.3 | 1.02 | 60.0 |
| 平 均 | 14.2 | 0.98 | 72.2 |

注1) 品質基準はブランド品質基準を示す。

2) 令和4年度は6月下旬から7月までの高温による土壌乾燥で、8月中旬のクエン酸含量が高くなり、ブランド基準率が過去2年に比べ低い値となった。

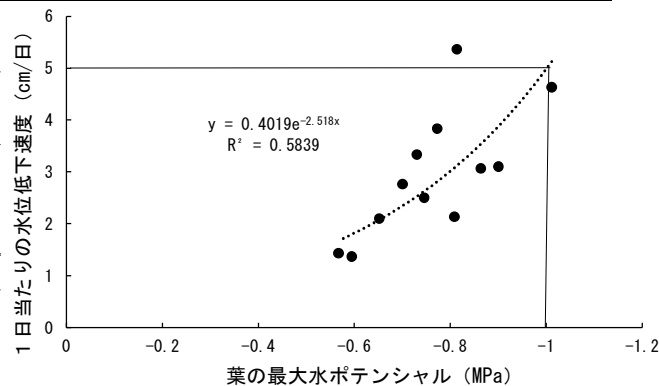


図1 簡易土壌水分計の1日当たり水位低下速度と葉の最大水ポテンシャルとの関係

期待される効果

産地における土壌水分管理の指標として活用



加温ハウス栽培「大将季」の高品質果実の安定生産



○普及対象・範囲: 県内加温ハウス栽培「大将季」の果樹技術員

鹿児島県農業開発総合センター
果樹・花き部常緑果樹研究室

(R04)